



Kimie Iwata



Junko Tsuda



Chiaki Nagayama



Eiko Monno



Yoko Doi



Ayako Yoshida

2017年は津田塾大学にとって大きな変革の年となりました。女子大学初の総合政策学部を設置し、学年暦も4学期制に改めました。

学外学修の分野では、学年暦の改革に併せ、海外サマースクールや国内外でのインターンシップ等を奨励する期間「ギャップターム」を導入。従来、多くの津田塾生が自発的に取り組んでいた「キャンパスをこえた学び」を、大学として支援していく体制を整えました。

「キャンパスをこえた学び」の一層の充実には、学生たちのロールモデル、メンターとしての卒業生や受入組織の方々の存在を欠かすことはできません。

そこで、社会の第一線で活躍されている卒業生、受入組織関係者の皆様、学外学修に関心を持つ学生が一堂に会する場として、本シンポジウムを開催し、「キャンパスをこえた学び」が拓くキャリアの可能性を考える機会といたします。

津田塾大学学外学修センター主催シンポジウム

キャンパスを こえた学びが創る 女性の未来

2017年
11月19日 [日]
10:00-15:00 参加費 無料

津田塾大学
千駄ヶ谷キャンパス

- JR中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 徒歩1分
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅 A4出口 徒歩1分
- 東京メトロ副都心線「北参道」駅 徒歩10分

|対象|

津田塾大学在籍の学生 [先着150人]

津田塾大学出身の社会人の皆様

津田塾生の学外学修を支援いただいた関係者の皆様

津田塾生の学外学修の受け入れにご関心のある関係者の皆様

|申込み|

下記申込みフォームに必要事項をご記入の上送信ください。

<https://goo.gl/forms/JD3VIEAXQAzD5FBO2>



|問合せ|

津田塾大学学外学修センター

TEL:042-342-5129

MAIL:offcampus@tsuda.ac.jp



大学教育再生加速プログラム



津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY



9:30 受付開始

10:00 -10:10 主催者挨拶

10:10 -11:00 基調講演「女性はもっと活躍できる！ -企業、働く女性、女子学生に期待すること-」（津田塾大学 岩田喜美枝理事）

11:10 -12:00 卒業生によるパネル・ディスカッション

12:00 -15:00 ネットワーキング・ランチ（学生ポスター展示）



[基調講演]

岩田喜美枝
津田塾大学理事

1971年東京大学教養学部卒業。同年 労働省入省。厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を最後に2003年退官。同年 株式会社資生堂に入社。取締役執行役員、取締役常務を経て、2008年 代表取締役副社長に就任。2012年～2016年 同社顧問。

【現在の主な役職】

キリンホールディングス株式会社 社外取締役。日本航空株式会社 社外取締役。株式会社ストライプインターナショナル 社外取締役。公益財団法人21世紀職業財団 会長。津田塾大学 理事。公職としては東京都監査委員、神奈川県男女共同参画会議会長等。

【主な出版物】

『女性はもっと活躍できる』（共著）21世紀職業財団、2015年



[パネル・ディスカッション]

長山千晶
資生堂ジャパン株式会社
マーケティング本部
マーケティング副本部長

1991年津田塾大学学芸学部数学科卒業、当時主流だった数学教師やSEではなく生活に身近な産業を希望し、株式会社資生堂に入社。特にマキアージュ、マジヨリカマジヨルカなどメーキャップブランドの新製品開発、マーケティング、ブランドポートフォリオ戦略に20年以上携わる。2017年から現職。数学科卒のマーケターは珍しがられるが、学生時代の映画館・ライブハウス・美術館通いや、市場調査会社や広告代理店でアルバイトした経験、数字に強いことは、マーケティングに必要な「感性と科学」に大いに影響していると考えている。



[パネル・ディスカッション]

土井陽子
公益社団法人
アムネスティ・インターナショナル日本
渉外担当

1999年津田塾大学学芸学部英文学専攻卒業。日本からタイへの技術移転の推進事業を行う経済産業省の外郭団体に入職し、タイから派遣される訪日研修団の日本企業視察等を担当。在職中に内閣府の国際交流プログラム「東南アジア青年の船」に参加。その後、電機メーカーのCSR部門で社会貢献活動やCSR推進活動を担当。事業とつながる人権課題の解決のための仕組みづくりに携わる。2014年より現職。ファンドレイジングとCSRを担当し、個人・団体からの寄付募集、企業の人権尊重の取り組みへの助言や人権研修の実施などを行っている。



[パネル・ディスカッション]

津田順子
公益財団法人米日カウンシル・ジャパン
事務局長

1984年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。ウィタンアソシエイツ、ウォルト・ディズニー・ジャパン、カルティエジャパン、ヒルトン・インターナショナル、日本GE、アイエヌジー生命保険の国際的な企業で、広報や人事を担当。日本GEとアイエヌジー生命保険では女性社員のキャリア支援ネットワークに参画。その後非営利セクターに転身し、2015年から公益財団法人パブリックリソース財団でのファンドレイジングおよび広報活動を経て、2016年から現職。

2015年度Japanese Women's Leadership Initiative研修フェロー。



[パネル・ディスカッション]

門野映子
日本ケロッグ合同会社
人事総務部部長

1997年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。株式会社矢野経済研究所を経て、2003年にマーサー・ヒューマンリソースコンサルティング株式会社（現マーサー ジャパン株式会社）入社。国内外の企業に対するグローバル人事戦略構築、採用戦略構築、人事制度設計、マネジメント革新支援など、企業の様々なステージにおける問題解決プロジェクトをプロジェクトマネージャーとしてリード。

コンサルティングよりも人事を実務面から実施したいという思いから、2015年から現職。人材の面から、ビジネスの成長に貢献できるように日々務めている。



[パネル・ディスカッション]

吉田彩子
株式会社碧嘉（ピッカ）ジャパン代表取締役

2008年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。異文化やフェアトレードに関心を持ち、在学中に日本及び英国にてフェアトレード関連会社でのインターンを経験。卒業後、大手アパレルメーカーの生産受託工場（中国）の日本窓口として、デザイナーと工場の間で営業と生産管理を担当。エシカルの対極にある大量生産の背景を理解した上で「フェアトレード」や「エシカル」という言葉を表面には出さずに、消費者とファッションを通じたコミュニケーションを行いたいと考えるようになる。2013年4月 株式会社碧嘉（ピッカ）ジャパン入社。新規事業担当としてペルー産ハンドメイドのアルパカニット商品を中心に、企画、仕入、EC販売を開始。2014年4月より現職。アルパカニットブランドMAITEのプロデュースと、NY発のアクセサリブランドMUJUSの日本マーケット開拓を行っている。